

3. Rwenjeru小学校と地域社会へのWASHイニシアティブ(ウガンダ)

- 実施団体: Spero Child International (#029)
- 実施地: ウガンダ ムバララ県ルバーヤ副郡ルウェンジェル行政教区
- プロジェクト予算: 3,500ドル(JWFファンド1,500ドル、団体1,200ドル、受益者800ドル)
- 受益者数: 450人(男性25人、女性25人、子ども400人うち小学生342人)
- 実施地の水問題:

Rwenjeru小学校と周辺地域における最大の課題は、安全で清潔な水源と衛生設備の不足である。学校および地域住民は、家畜が汚染した可能性がある露出湧水水源に依存しているため、特に子どもたちは水系感染症にかかりやすい。また、学校には適切なトイレが整備されていない。



Rwenjeru小学校校舎と破損した貯水槽



左手付近にヒビあり。本体に穴を空け、雨樋からの横走り管を間に合わせ接合している。



近所の池を家畜と共有して、水を汲む生徒たち。

- 主な活動内容: 既設10,000ℓ貯水槽の修復、家畜防止柵設置、生徒・教師・両親向け衛生啓発集会、学校衛生クラブの結成、地域啓発活動、水衛生委員会維持管理など。
- 特長(持続性): 統合的なWASHアプローチを学校近辺の共同体に展開する。自治体、NGO、地域共同体リーダーとの協力を深め、人的資源と専門知識を活用して活動の範囲を広げる。学校首脳メンバーの能力向上、児童による学校クラブを設立して、貯水槽の保護・維持に責任を持たせてプロジェクトによるインパクトの持続性確保を目指す。
- 実施団体: 2019年に設立された地域密着型団体。ウガンダ南西部にて、困難な状況の子ども、女性、青少年、障がい者へのエンパワーメントを目的に活動している。ムバララ・ロータリークラブと連携してルウェジ川の保護活動を行うなど水資源保全や環境正義実現に情熱を持つ。2023年には県内5小学校で衛生向上活動を行った。